

おおこうち内科クリニック

〒495-0015 稲沢市祖父江町桜方上切6-7
TEL 0587-97-8300
<http://www.okochi-cl.com/>

急性扁桃炎



<急性扁桃炎とは？>

のどの奥の左右両側に扁桃(俗に扁桃腺と呼びます)があります。ウイルスや細菌感染により、扁桃が真っ赤に腫れて、膿(うみ)がつくと高熱が出ます。このような状態を、急性扁桃炎と呼びます。

扁桃は5-7歳頃に最も大きく、その後小さくなり、中学生ぐらいになると成人と同じ大きさになります。気管支喘息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患のお子さんは、扁桃が大きくなりやすいです。扁桃が大きいお子さんは急性扁桃炎を繰り返す場合があります。



<症状>

高熱、咽頭痛が主症状です。咳や鼻汁などの風邪症状はないことが多く、熱が高いわりには全身状態が良好で、食欲もあまり落ちません。ただし、熱は5-7日間続くことがあります。



<治療>

- (1)解熱剤を処方します。高熱で元気がない場合に使用してください。
- (2)細菌感染が原因と考えられる場合には抗生剤を処方します。
- (3)高熱で水分摂取が出来ずぐったりしている場合には点滴をします。



<自宅での注意>

高熱のため不感蒸泄が増えます。脱水にならないように、水分を十分に取らせてください。お茶やジュースよりも、電解質を含むスポーツドリンクが適しています。



<鑑別診断>

扁桃炎を起こす病気のなかで、特殊なものが数多くあります。熱がいつまでも下がらない、元気がなく全身状態が不良である、他の症状が出て来た場合には、検査が必要になります。

(1)アデノウイルス感染症:アデノウイルス3,4型によって起こることが多く、1,2,5,6,8型が原因になることもあります。咽頭痛、扁桃炎、眼球結膜の発赤が起こり、高熱が続きます。

(2)伝染性単核球症:EBウイルス、サイトメガロウイルスが原因です。扁桃炎、リンパ節腫脹、肝腫大、肝機能障害を起こし、高熱が続きます。

(3)溶連菌感染症:溶連菌が原因です。高熱、咽頭痛、発疹、莓舌を生じます。3-4週間後に急性糸球体腎炎を起こすことがあります。7-10日間抗生物質の服用をして、除菌する必要があります。

以上、扁桃炎を来たす疾患のなかから、その一部を紹介しました。